シーズン後半戦突入!!

もっとPWCを楽しむための 捗り(はかど)GOODS 37選

早いもので、2014年のPWCシーズンも後半戦に突入!!
短いマリンシーズンを目一杯楽しむためには、
少しの時間も無駄にしたくない!!
ということで、今回はPWC遊びが捗るグッズを一挙紹介!!

アンカリング 係留が 捗(はかど)る

今月号では様々なツーリングを取材しているが、そのなかでPWCの係留やアンカリングをする場面も多かった。

そのときに使用者が多かったのが、伸縮ロープだ。アンカリングの際はアンカーロープとして、係留の際は伸縮性を活かして様々な場所にロープを張りめぐらせるようにと、便利に使いこなしている姿が目立った。

アンカーの種類では、使用者が一番多かったのはハードコートタイプ。続いてマッシュルーム、フォールディングという順。残念ながら今回はサンドバッグアンカーの使用者には出会えなかったが、土嚢袋で代用しているユーザーがいたことを報告しておこう。 係留やアンカリングも、使いやすい・便利なものを用意しておくと捗るぞ!!

PWC用アンカーの種類

ハードコートアンカー	フォールディングアンカー
以前に行った本誌テストでは、砂地で一番効きが良かった。船体を傷つけないように角が丸くなり、全体にPVコートが施されている。	4枚のツメを開いて海底に食い込ませるタイプ。コンパクトになるので運搬は容易だが、使用時に踏みつけると足を切ることも。
マッシュルームアンカー	**サンドバッグアンカー**
PWCに使用されるのは、3~5kg程度のもの。水中では横倒しになり、傘の部分が砂に食い込んだり岩に引っかかると高い保持力を発揮。	ゲレンデの砂や岩を入れ、その重量で効かせるアンカー。使用時に手間はかかるが、運搬時は袋だけになるため、扱いやすさは抜群。

流されない アンカリングの コツ

- ●穏やかな水面を探す
- ●ロープの長さは、水深の3倍以上
- ●ロープはバウアイに結ぶ

アンカーの運搬

アンカーを運搬する際は、PVコートなどが施されているものでもケースなどに入れる、もしくはライフベストなどで保護し、走行中にできるだけ暴れないようにすることが大事。

ユーザーがDIYしたフォールディングアンカー用ケース。クッションを内蔵し、持ち手も装着。

アンカーケース

問)タイトジャパン　http://www.tight.co.jp/

価格：2376円

ケースのクッション材により、船体へのダメージを軽減。運搬時に便利な持ち手も装備している。

アンカーを積んで荒れた水面を走るとストレージ内でアンカーが暴れ、穴があくこともあるので注意。

アンカリングから係留 そして曳航までマルチに使える 伸縮ロープが一番人気!!

伸縮ロープをアンカーロープとして使用すると、波や風での船体の揺れをロープが吸収してくれるので、アンカーの効きが良くなる。先端にフックが付いているので、ロープワークが苦手なひとでも使いやすいのも◎。

使用後は、フックがサビないようにメンテナンスを。

ハルハンガー

問)ホットプロダクツジャパン
http://www.sansei-int.com/

価格：3564円(1個)

係留時の船体保護に便利なPWC用フェンダー。

フロント側は、黒いゴムをストレージに挟んで固定。

リア側は、S字フックでスキーアイに固定。

はかど 捗る 準備・片付けが

PWCに乗るうえで、準備と片付けはかならずついて回ることだ。それを煩わしく思うひとも、少なくはないだろう。着替え、収納、その他もろもろ。それらが少しでも便利に、少しでも快適にできたら、もっとPWCが楽しくなると思いませんか？
　ここではそんな準備や片付けが捗るグッズを紹介しているが、なかでも着替えに関するアイテムは要注目。更衣室やシャワーがないゲレンデの場合、男性はタオル１枚あれば着替えられるし、シャワーも我慢すればいいと考えるかもしれないが、女性ゲストがいる場合はそうもいかない。また来たいと思ってもらうためにも、快適に着替えられるグッズは用意しておいても良いのではないだろうか。

着替えから収納まであると便利なグッズが盛りだくさん!!

Model/Yumi Tanaka

Coleman エンクロージャー
問）コールマン ジャパン　http://www.coleman.co.jp/

価格：オープン

野外での簡易更衣室として使えるポップアップ式のテント。収納時はとてもコンパクトになるため、付属のキャリーバッグに入れてラクラク持ち運べる。スチールペグとロープも付属。

Klitch シューズクリップ
問）ユニマットリゾート&コミュニティ（大沢マリーン）　http://www.josawa.co.jp/

価格：1944円

バラバラになりがちなブーツをまとめておけるスグレモノ。本体にカラビナ付きストラップが付属しているので、使用後に干す際や、自宅での収納時、持ち運びの際にも便利。

MOBBY'S シートカバー
問）モビーディック　http://mobby.co.jp/

価格：5184円

濡れたウェアを着たままでも気にせずクルマに乗れる、ネオプレン製のシートカバー。ヘッドレストに被せるだけなので脱着も容易。付属のベルトでコンパクトに収納できる。

お着替えポンチョ

野外での着替えに便利な、マリンレジャーの定番アイテム。シャワーを浴びたあとに頭からすっぽり被り、そのままタオルとしても使える。内側のポケットに脱いだ水着を収納可能。

ウェットハッチフック

リアハッチに取り付けることでハンガーをかけられるフック。使用後のウェアを一時的に干す際に便利で、マグネットタイプや吸盤タイプなど様々な種類がある。

毎回のセッティングが面倒なひとは、リアハッチバーを常設するのもオススメ。

MOBBY'S リングハンガー
問）モビーディック　http://mobby.co.jp/

価格：648円

グローブとブーツの開口部を下向きに干せる、ネオプレン製のハンガー。リーズナブルな価格と場所をとらないコンパクトなサイズも魅力。ブーツ用（大）とグローブ用（小）２個１セット。

ポータブルシャワー

シャワーがない環境でも体やウェアなどを洗えるので、ひとつは持っておきたいアイテム。シガーソケットから電源を取る電動タイプや、手動ポンプタイプなどがある。

MOBBY'S コンディショニングドライヤー
問）モビーディック　http://mobby.co.jp/

価格：1058円（ショート）
2138円（ロング）

ブーツやグローブに入れておくことで、乾燥、防臭、型崩れ防止の効果が得られる。使用後も乾燥させれば繰り返し使用可能。写真はショートタイプ。

MOBBY'S フレキシブルハンガー
問）モビーディック　http://mobby.co.jp/

価格：2268円

ウェットスーツなどの肩のサイズやラインに合わせて自在に変形できるハンガー。大切なウェアの形に合わせて保管できるので、型崩れを防止できる。

アソビが はかど 捗る

ツーリングやトーイング、フィッシングなど、PWCの遊び方は様々。それぞれが魅力的で楽しい遊びだが、もっと楽しむための捗りグッズも多数存在する。
　そのなかで、特にツーリングユーザーにオススメなのがリアデッキに装着するラックだ。PWCフィッシングでお馴染みのこのグッズだが、ロッドホルダーとクーラーバッグが付属しないツーリング仕様もラインナップされており、使い方次第では収納力抜群の捗りグッズに大変身。より多くのアイテムを運べるので、ツーリングの最中や休憩時に使いたいアイテムを持っていったり、濡れモノを気にせず収納することも可能になる。ただしリアデッキの積載重量が決められている機種もあるので、取扱説明書で確認のうえ、重量オーバーしないように注意しよう。

大切なあのひととのタンデムをもっと楽しく安全に

ライフベストハンドル
問）HOT PRODUCTS JAPAN　http://www.sansei-int.com/

価格：2160円

操船者のライフベストのベルトに装着することで、走行時に後席の同乗者が掴めるハンドル。操船者と密着するため、万が一の落水時にもすぐに気づくことができる。２個１セット。

PWCフィッシングでお馴染みのアイテムは使い方次第でもっと捗るグッズに変身!!

FACTORY ZERO PWCツーリングラック
問）FACTORY ZERO　http://www.factory-zero.co.jp/

価格：４万5360円

ラックのパイプにゴムバンドや取り外し可能なタイラップで固定すれば、冷えた飲み物を入れたクーラーボックス、ツーリングの途中で楽しむシュノーケルセット、休憩時に使用するアンカーやアンカーロープ、イスなど、あらゆるものが持ち運び可能になる。ただし走行中に外れると、紛失するだけでなく後続艇に危険がおよぶ可能性があるため、厳重に固定しよう。

ラッシュパーカー
J-FISH QUEENS RASH PARKA
価格：7884円

ラッシュパンツ
J-FISH QUEENS RASH LONG PANTS
価格：7884円

問）ジパソン　http://www.zipathong.co.jp/

女性の天敵「紫外線」を気にせず遊ぶために

遮るものがない水上でのツーリングでは、長時間にわたって紫外線を浴びることになる。日焼けを気にせず楽しむためにも、UVカットのウェアを着用して肌を露出しないように心がけよう。

サーフハット
O'NEILL WMS UVP IKAT HAT
価格：4104円

ラッシュパーカー
O'NEILL FLOWER HOODIE JACKET
価格：8208円

レギンス
O'NEILL WMS SHARRING LEGGINS
価格：3024円

問）モビーディック　http://mobby.co.jp/

虫よけ。酔い止め。お守り。空いてる手足に全部装着!?

様々な効果を発揮するリストバンドも、捗りグッズの一員!? PWCに乗る時は酔い止めしくはお守り、陸上にいるときは虫除けなど、使い分けても良いかも。手足すべてにフル装備で準備万端!?

虫除けバンド

お守りバンド

酔い止めバンド

トラブルシューティングが捗(はかど)る

PWCに乗っていれば避けられないトラブルが、ポンプのゴミ詰まり。どんなに注意しても避けられないなら、トラブル発生時に短時間で復帰できるように準備を整えておくのが、PWC遊びを捗らせるコツだろう。

このページで紹介している工具を持っていれば、ペットボトルのキャップやビニール袋、ロープなど多くのゴミ詰まりはその場で対処・解消できるはず。

反対に、これらの工具がなければたとえ軽微なゴミ詰まりでも解消できず、その日のPWCは終了——となってしまう可能性もあるということだ。少しの準備の差で、1日の結果に大きな違いが生じることも多い。転ばぬ先の杖という言葉もあるし、準備を万端に整えてから、ゲレンデへ出かけよう!!

大型カッターナイフ

ドライブシャフトに絡まったゴミを切断・除去する際に役立つ。使用時は刃の長さと切れ味が重要になるので、必ず替え刃を用意しておこう。

ロングノーズペンチ

写真のロングノーズペンチは全長40cm。インテーク側からでもノズル側からでも、インペラに絡まった異物を除去できる心強い工具。

TONE LED付ピックアップツール

問)TONE　http://www.tonetool.co.jp/

価格：2700円

日中でもポンプ内は陽が当たらず暗いため、作業には懐中電灯が必要となる。その点、TONEのピックアップツールは先端にLEDライトを内蔵しているため、これ1本で作業ができるスグレモノだ。もちろんエンジンルームに落としたボルトや工具などのピックアップにも使える。全長615mm、シャフト径6.5mm、質量126g(電池含む)。

LED照度は3ルーメン。マグネット保持力は0.9kg以下、ツメの最大つかみ径は23mmとなっている。

掴む、磁力で取る、そして照らす1台3役の便利ツール

TONE LEDワークライトLT05WPC

問)TONE　http://www.tonetool.co.jp/

価格：2万2680円

LED部を細く、薄くすることで、どんな隙間でも照らすことができる防水・防塵の充電式LEDライト。スイッチを押すごとに3種類の発光パターン(先端1灯/片面30灯+先端1灯/両面60灯+先端1灯)を切り換えられ、徐々に照明がつくことで、突発的なまぶしい光から目を保護。AC100V~240VとDC12V~24V(車載用)の2つの充電器を標準装備。

LED部は幅19mm、厚み12mm。ポンプ内に差し込んで、隅々まで照らすことが可能。吊り下げフックも付属。

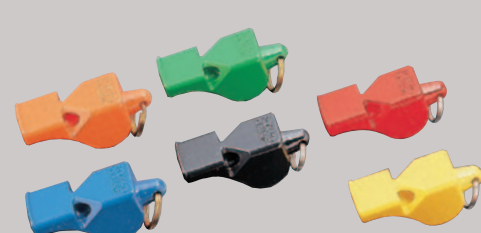
充電残量がわかるインジケーターランプ付き。

マグネットホルダーで、金属部に取り付け可能。

先端が光るマグネットホースも付属。

狭い場所もしっかり照らす防水・防塵のLEDライト

持ってて良かった!!　いつかそんな時がくるかも!?

問)ユニマットリゾート&コミュニティ(大沢商会)　http://www.josawa.co.jp/

フォックス40ホイッスル

価格：972円

約115dBの大音量で、緊急時に遠くまで音が届く。

テレスコープシングルパドル

価格：3456円

ストレージに収まる伸縮式のパドル。頭上に掲げて振れば、救難の合図にも。

マルチファンクション オートエマージェンシ スタートパワーステーション

問)J-lines　http://www.j-lines.com/

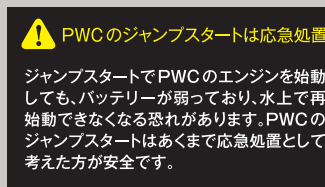
収納ケースも付属。閉じた状態のサイズは235×190×60mm。

価格：9215円

携帯機器の充電からクルマ・PWCのバッテリーあがりまで、1台でマルチに使えるパワーステーション。フル充電で、3000回のジャンプスタートが可能。オートストップ機能で、バッテリーの過充電も防止してくれる。内蔵の超高輝度LEDは点灯・ストロボ・SOSの切り替え可能で、夜間の作業や緊急時に役立つ。本体サイズはL165×W79×H39mm。

スマホなど携帯機器の充電から、クルマやPWCのバッテリーあがりにも対応

コンセント用とシガーアダプター、2種類の充電ケーブル付属。

USBケーブルや各種コネクタも標準装備。

⚠ PWCのジャンプスタートは応急処置

ジャンプスタートでPWCのエンジンを始動しても、バッテリーが弱っており、水上で再始動できなくなる恐れがあります。PWCのジャンプスタートはあくまで応急処置として考えた方が安全です。

みんなのバッグ事情

PWCに乗る際、水に濡れては困るけど、持っていきたい・持って行かなければならないモノもある。そんな時に活躍するのが防水バッグだが、みんなはどんなバッグを使っているのだろうか?

そんな目線で各地のツーリングを見ると、人気だったのはソフト系の防水バッグ。なかには、ソフトクーラーのなかに防水バッグを入れ、2重に保護しているひとも。ハード系防水ケースは少数派だったが、使用者の意見は「ハードの方が信頼性が高い」とか。

水に濡れても平気な新感覚バッグ

bogg bag

問)JSP東海　http://www.jsptokai.com/

価格：7452円(スモール)/ 9612円(ラージ)

防水ではないが、ソフトな素材を使用した濡れても平気なバッグは、散らかりがちな小物の整理に便利。

ユーザー使用率NO.1(編集部調べ)

DELFINO防水アクアショルダーバッグ

問)ホットプロダクツジャパン　http://www.sansei-int.com/

価格：2268円

丈夫なナイロン生地に、塩化ビニールコーティングを施した素材を使用。230×246×82mm。

大切なカギの水没を防ぐ

Atlantisキーフロート

問)ホットプロダクツジャパン
http://www.sansei-int.com/

価格：972円

濡れても平気だけど、水に落として紛失するのが怖いものにはフロートを付けておくと安心。